いterview



(隊員歴 3年目)

出身地:千葉県

【活動内容】

(隊員歴 3年目)

profile -

本県内のみならず、

行わ

山形さん と知り合ったことがきっかけで知ったのは、丸山ハイランドの方な環境に癒されました。山都町を な環境に癒されました。 でも道の先には山が見え、 た(笑)熊本に来てみると、 祖母が鹿児島に住んで |鹿児島||暑 いという印象で 穏やか て、 し

すごいし、木陰に入ると風が冷た くて夏なのに気持ちい 山の上に畑があって、 口り上に畑があって、景色はわれて山都町に遊びに来た

> です 鮮やかで、なんだここは!って感花や木々の緑色、昆虫の色までも 住みたいっ でいて安心感があって、 てきちゃいます。 ど身近に自然がなくて不安になっ てきたら、 動しました。 市内に行くと山都町ほ て思えるのが 山都の暮らしに慣れ それくらい住ん ずっと 山都町

> > 夫婦2人で応募しました。 協力隊の募集があってい

知り合

いの方が山都町に

いたこと います。

くも1年で脱落してしまいました

りました。そしてタイミングよく 盛んな町として山都町のことを知

前島さん

いますか?

ような活動

たので、 夫は早

観光分野の活動をして

も有機農業に興味があり、 した。 有機農業団体の農業研修に通いま 前暮らしたこともある熊本県で、 思っていました。夫と私、

ですが、みなさん良い人ばかりで区の家が10軒くらいの小さな集落

今住んでいるところは、蘇陽地

もともと自給自足がしたいなと そのうち移住して農業がや 夫が以 2 人 と

気にかけてくれる温か

い地域

と連携して町内の飲食店などの

具体的には、㈱ MARUKU 等

りのお手伝いをしています。

もっと情報発信ができる仕組み作 あまり強くないなと感じたので、 その時に、町としての情報発信が がきっかけで山都町に来ました。

素敵で気に入っています

クのつなげ役のような感じで、

事業所と制作会社であるマル ムページの制作を行ってい

ま

食べ物のおすそ分けがあった

ブランディング化を目指す。 8月末で協力隊を卒業。

出身地:和歌山県

山形ゆりのさん

NPO 法人の丸山ハイランドで 知的ハンディがある方等の雇 用創出のため農業と、農業の

たいと思うようになり、 「熊本」

住先を探している時に有機農業が で移 植村真穂さん て

協力隊としてどの

【活動内容】 ジビエ工房で、イノシシやシ カの解体と精肉加工業務を 行っている。狩猟免許も取得。 私生活ではバックパッカーの 受入れも行っている。

植村さん

活動を続けています が大変なので、 自体の収益は上がりますが、 に2回行っています。 農業のほかに、コン コンサー トを年 運営

な活動を行っていきたいで今後、協力隊としてどのよう

の人手不足や、高齢化が進んでい性も感じているんですが、農作業げるため野菜のブランド化の必要

ないかと考えています。

丸山ハイランドで栽培され、

るので、まずそこをどうにかでき

がある方の雇用創出のため、農業

討を行っています。

回数等について検

小さなイベン

も含め頑張っています。

丸山ハイランドで知的ハ

ンデ

を行っています。

農業で収益を上

案したりして

ています。

ジ

の演出等を提

ます。 空家調査に関する業務をし 移住をしてみて思った 移住定

味しかったので、

町を代表するよ

な特産品に出来るように地道な

天日干しをした落花生がすごく美 通しと日当たりが良い下名連石で

出口さん 住や、 事をさせてもらっていて、 山の都地域しごとセンター で仕

(隊員歴 2年目) 出身地: 鹿児島県 【活動内容】 山都町の情報発信を強化でき る仕組み作りを行っている。 町内の飲食店等のホームペー ジの製作のきっかけ作りや提 案を行っている。

前島大和さん

profile -



出口貴啓さん (隊員歴 1年目) 出身地:熊本県

【活動内容】 山の都地域しごとセンターで 移住定住等の仕事を中心に、 矢部高校の魅力化プロジェク トや大学との連携など、「山の 都のファンづくり」に取組む。

付き合い方など山都町で暮らすのが、住む場所や地域での人と になって考えていく活動をしたいについて地域の方と大学生が一緒 そしてジビエの活用など町の課題 生を山都町に呼び込みたいです。 隊や移住者に対してだけではな と思います。 めのサポ そういったサポートを協力 トが必要だなと感じま 人との

地方に行ってもらおうというプロ ジェクトについても ェクトが動いてい 留学」という都市部の高校生に ています。 て、

また、 大学とも連携して行い、大学 矢部高校の魅力化プロ 一員として活 「地域みら 行っています。るのかというのを今から考え

めに、 んにはより良い地域づくりのた今後も地域おこし協力隊の皆さ と思います。 活かした取り組みに期待し 外からの視点や行動力をはより良い地域づくりのた

広報やまと 2019. 9月号

も今年

から受入れ側として手を上

げ参加しているので、

そのサポー

トや、どうやったら入学生が増え